

兵庫協
会
兵庫
保
險
医
協
会
西宮
芦屋
支部
ニ
ュ
ー
ス

No. 307
2012・10・25

発行
兵庫
保
險
医
協
会
西宮・芦屋支部
西宮市石劔町十八ー八
大森内科医院内
連絡先 兵庫保
險
医
協
会
電話 〇七八(三九三)一八〇一

新規開業医交流会

先輩の先生の姿勢見習いたい

8月25日、西宮市勤労会館で、「新規開業医交流会」開催。医院経営を成功させるコツを、宮崎義彦先生(西宮市・みやざきレディースクリニック)の司会で、安岡眞奈美先生(西宮市・安岡クリニック)と中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)が話題提供を行い、医師・歯科医師9人が参加した。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

私は2011年7月に開業をし、一年と少しが経ちました。医院経営に関して悩むことが多かったため、今回新規開業医交流会に参加を決めました。交流会では安岡クリニックの安岡眞奈美先生と中島クリニックの中島敏雄先生から話題提供をしていただきました。安岡先生のお話では、医療事務のスタッフを契約会社を通じて来てもらっている

のが興味深かったです。良質なスタッフを雇い入れ、教育をし、さらに長く働いてもらうために福利厚生を充実させるのは容易なことではありません。今後の人事対策の参考になりました。

中島先生のお話では、地域医療の実践の方法が興味深かったです。胃カメラや大腸カメラ検査の内容を雑誌の連載やホームページで一般の人にも分かりやすく解説されているのは素晴らしいと思いました。また、禁煙指導を小学校に出向いて行っている話もされていました。予防のために地域の啓蒙を行っている姿勢は見習おうと思います。



人事、スタッフ対策と医院経営のアドバイスについて話題提供する安岡先生



保険請求、審査・指導について話題提供する中島先生

今回交流会に参加して感じたのは、先輩の先生方がどのようなことを考えて頑張ってきたのかについてお話を聞いたことと、普段かかわることの少ない医師の先生方と情報交換をできたのがよかったと感じました。また参加させてもらおうと思います。

【西宮市・あかお歯科医院 赤尾 聡一】

保険請求事務講習会 (医科)

レセプトの手書きで理解深まった

9月1日・2日の二日間、西宮市民会館で協会研究部が主催で「初心者のための保険請求事務講習会(医科)」を開催。一日目は岩下敬正先生(西宮市・岩下内科クリニック)と、中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)、二日目は川崎史寛先生(西宮市・川崎医院)と、佐々木一郎先生(西宮市・夙川ささきクリニック)が講師を務め、医師・事務スタッフら61人が参加した。

講習会では、協会発行の『保険請求の要点(2012年版)』をテキストに保険請求事務の基礎を確認。その後、問題集を使い、医師の診療内容を見てレセプトを実際に手書き作成するまでの作業に取り組んだ。

参加者からは、「普段はレセコンなので手書きは難しかったがとても勉強になった」「はじめは全く分からなかったレセプト用紙が、終了頃には少し頭に入り、理解できるようになったのがよかった」「質問しやすい先生で、その場ですぐ疑問を解消できたのがよかった」「今まで機械的に入力していたが、点数の仕組みが理解できたのが良かった」「手書きの実習を行うことでとても理解が深まった」などの声が寄せられた。



1日目の講師を務める岩下先生(右)と中島先生(左)



2日目の講師を務める川崎先生(右)と佐々木先生(左)

第19回医療過誤訴訟セミナー

- 【日時】 12月8日(土) 15時~
- 【会場】 兵庫県学校厚生会館
JR・阪神元町駅より北へ徒歩1分
- 【テーマ】 「情報開示とプライバシー
そのジレンマ」
- 【講師】 大阪市・米田泰邦法律事務所
鵜飼 万貴子 先生
- 【司会】 西宮市・半田医院 半田 伸夫 先生

英語で診療 Medical English # 34

今日から使える嬉しい英会話

9月21日、西宮医療会館で「How to take Medication part.2」をテーマにした「薬」の服薬指導その2」を開催。講師を Medical English #34 を開催。講師を Robert Conroy 氏、司会を坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)、アドバイザーを西野かおる先生(神戸薬科大学非常勤講師)が務め、医師・薬剤師ら21人が参加した。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

「How to take Medication」というタイトルに惹かれ、ぜひ参加してみたい!と思って申し込みをしました。

私は薬剤師として、調剤他の業務にあ



前回に引き続きアドバイザーを務めた西野かおる先生



ロールプレイを行う Conroy 氏

たつてかなりの年数が経ちますが、頻度は少ないものの日常業務で、突然英語で患者に対応しなければならぬ場面に出くわします。処方箋調剤に基づく服薬指導の場合もあれば、一般用医薬品やサプリメントの説明や紹介をしなければならぬこともあります。日常から英語での会話に慣れていれば良いのですが、そうではない場合、ついつい「えーっと、これはなんて説明しよう」と考えながら、単語の羅列と身振り手振りで一生懸命お話するのですが、そこに、病名が絡んできたり、医学・薬学の専門用語を用いて説明しなければならぬ時は、お手上げ状態に。結局、その後ジェレシマとともに、自らの情けなさにガツカリ。

「せめて、簡単な日常会話と薬の服薬指導に関しては、ある程度スムーズに話せるようになりたい!」といつもいつも思っておりました。

そんなささやかな期待も抱きつつ恐る恐る?参加しました(皆さん、ある程度話せる方ばかりだと、どうしよう?と考えるながら)。医師・薬剤師その他色々な職種のメデイカルスタッフがおられました。

今回の内容は、我々の日常業務に非常に役立つもので、タイムリーな話題も盛り込んでいただき、まさに、今日から使える嬉しい内容でした。例えば、「ジェネリック医薬品」についての説明。これに関しましては、日本語でも難しいのですが、あえて、英語での説明の仕方を学ぶことによって、自らの頭の中が整理され、ああ、このように言えばわかりやすい!とあらためて大きな学びを得ました。また、「子どもへの薬の使い方」や「熱中症」に関する診断・注意・指導もたいへん役立つ内容でした。

日常業務に早速生かしたいと思い、本当に参加させていただき良かったと思っております。次回も楽しみにしております。

【長田区・薬局オズ・ファーマシー
薬剤師 大川 恭子】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は9月28日に西宮医療会館で世話人会を開催。3人が参加した。

【報告】

- ①新規開業医交流会 (8・25)
- ②保険請求事務講習会 (9・15・2)
- ③健康と医療について語り合う会 (9・12)
- ④ Medical English # 34 (9・21)

【予定・企画】

- ①第11回胸部X- P 読影会 (10・19)
- ②健康と医療について語り合う会 (10・27)
- ③ガイドライン研究会 (11・30)
- ④健康と医療について語り合う会 (12・6)
- ⑤第19回医療過誤訴訟セミナー (12・8)
- ⑥第29回漢方研究会 (12・15)
- ⑦ Medical English # 35

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

健康と医療について語り合う会

自分の死生観をもつことが大切

9月12日、健康と医療について語り合う会が用海公民館・活動推進委員会の主催で開催され市民ら85人が参加。中高年講座「人生の最後は自宅か病院か?」と題して伊賀幹二先生(西宮市・伊賀内科・循環器科)が講演した。主催者から寄せられた感想文を掲載する。

中高年講座には、予想以上の参加者85人で講堂がいっぱいになりました。みなさんは「死生観を考える」「死ぬ時を考えたことはありますか」とのテーマにたいへん関心を持たれたようです。

参加者は70歳代から80歳代の方が中心



用海公民館で死生観について講演する伊賀先生

でした。アンケートの感想には、次のように述べられています。

「これだけ死について考えさせられたことはない」「死生観はあまり持っていないが、今回一度考えることの大切さが分かりました」「自分の死・家族の死を考える機会となりました」「たいへん勉強になりました。また医療側の実態が良く理解できた」。また医療側の実態が良く理解できた。等々、改めて死について前向きに考える機会になったと感謝されておりました。

伊賀先生から「家族から愛されていますか」「自分の最後を家族とよく話していますか」との問いかけに、ほとんどのの方が手を挙げられませんでした。今、核家族になり、親と子が死生観について話し合える機会がないように思われます。また、戦争を生き抜いてきたので辛抱強い世代の親は、子どもに迷惑をかけないよう暮らしているように思います。私も72歳になりますが、家族とともに死生観について話し合える機会を持ちたいと思っております。

【公民館活動推進員会 藤本国武】